



日本自動車会議所は4月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第290回会員研修会を開催しました。リモート配信も併用し、全国から約60名が参加しました。

今回は「モビリティ・デザインとイノベーションによる新たな価値創造」をテーマに、講師にはKPMGモビリティ研究所所長の小見門恵氏、同プリンシパルの倉田剛氏の2氏を迎えました。同研究所は、当会議所主催「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(CSP大賞)において、地域におけるMaaSの取り組みが評価され、十勝バス(北海道帯広市)とともに共同応募事業者として大賞を受賞しています。

講演では、最初に小見門所長が研究所について紹介した後、「地方の交通弱者救済などモビリティを中心とした社会課題解決のため、新たなエコシステ



小見門 恵氏



倉田 剛氏

令和5年「春の叙勲」

当会議所関係者5氏が受章

令和5年春の叙勲で、当会議所の会員団体・企業関係者5氏が晴れの栄誉に輝かれました。

- ◇旭日大綬章
 - ・廣瀬 道明氏：元日本ガス協会会長
- ◇旭日重光章
 - ・二宮 雅也氏：元日本損害保険協会会長
元損害保険ジャパン日本興亜社長
- ◇旭日中綬章
 - ・林 文子氏：元東京日産自動車販売社長
元横浜市長
- ◇旭日小綬章
 - ・佐藤 良也氏：福島県自動車会議所会長
- ◇瑞宝中綬章
 - ・名尾 良泰氏：元日本自動車工業会
副会長・専務理事

ムをつくることが重要」と強調。その成功事例として、CSP大賞受賞プロジェクトを説明しました。

次いで倉田氏が2050年カーボンニュートラルの実現に向けて「自動車産業などでイノベーションの創出が不可欠」と提言。日本社会で求められている意識調査にも触れ、「都市部では歩行者に優しい街づくりへの要望が高く、地方部ではモビリティへの改善要望が高い」などと指摘しました。

その上で、モビリティ・イノベーションのカギとして「自動運転」を取り上げ、「日本の技術は世界の先端を走りながらも、社会実装・事業化では世界に後れを取っている」として、今後さらなる官民連携の実証が進むことに期待を示していました。

第89回定時総会開催のご案内

日本自動車会議所は6月16日、第89回定時総会を下記の通り開催いたします。総会ではオンライン(Zoom)を併用し、「2022年度事業実績・2023年度事業計画」など3議案を審議いただきます。また、総会に引き続き理事会を開催いたしますが、総会・理事会終了後には、立食形式での懇親会も予定しております。

記

日 時：2023年6月16日(金)
11時00分～11時45分(予定)

場 所：経団連会館2階「経団連ホール」
東京都千代田区大手町1-3-2

議 題(予定)

1. 2022年度事業実績・2023年度事業計画
2. 2022年度決算・2023年度予算
3. 理事選任 他

※総会・理事会終了後、定時総会懇親会を開催いたします。

〔時 間〕12時00分～13時00分

〔場 所〕同会館2階「国際会議場」